

予算常任委員会産業生活分科会

(平成25年12月18日)

○ 加藤清助委員長

それでは、予算常任委員会産業生活分科会を、急遽でありますけれども、開催させていただきます。

議案第79号 平成25年度市立四日市病院事業会計第1回補正予算

○ 加藤清助委員長

議案第79号平成25年度市立四日市病院事業会計第1回補正予算については、12月11日水曜日に本分科会で審査を終えたところでありますが、補正予算額に誤りがあったことから、本日、再度理事者より説明を求め、審査を行うこととなりました。

ということで、それでは、議案第79号平成25年度市立四日市病院事業会計第1回補正予算についてを議題といたします。

お手元に資料が配付をされておりますので、説明を求めます。

○ 田中市立四日市病院事務長兼病院事業副管理者

市立四日市病院の事務長、田中でございます。

本日は、本当に申しわけございません。私どもの不手際がございまして、このような場を設けていただくことになりました。

それで、若干の経緯と申しますか、先ほども説明がございましたけれども、実は、きのうの全体会の審議の中で、川村高司議員から資料請求があったと、その資料調整をする中で、今回ご説明いたしました3億数千万円と3720万円の違いに、本当にお恥ずかしいんですが、その時点で気がつきました。

それで急遽、どうするかということで、当然手続等も踏まえて確認いたしましたところ、議案の訂正ということでございまして、きょうに至ったという次第でございます。

それで、原因につきましても、説明申しましたように、調書に挙げてある限度額という数値を、本来挙げるべき債務負担行為の今回の要補正の限度額と、これ、全く初歩的と申しますか、しかし重大なミスなんですけれども、そういった単純な誤りを犯しまして、それが最終的にもチェックにかからず、こういった事態になったということでございまして、

まことに本当に申しわけございませんでした。

そういうことで、資料につきまして、若干重複する部分はなるべく割愛いたしまして、ご説明をさせていただきたいと思います。

まず、お手元にございます議案の訂正の依頼文につきましては、先ほどご説明したとおりでございまして、開いていただきますと、上段が訂正前、下段が訂正後ということで、限度額 3 億 2200 万円、あるいは 2274 万円が本来は、2737 万 7000 円、あるいは 1220 万 4000 円でなければならなかったということと、事業用機器、これは主にドクターのいろいろな情報収集のためのパソコンということでございしますが、その部分は当初予算に上がっておったので、これは変更、それに対しまして事務用——これは行政内部事務用でございしますが——につきましては、当初予算に上がっていなかったもので、追加ということにさせていただきたいということでございます。

3 枚目は、予算書の同じような内容の資料になっております。

それで、原因といたしましては、これも副市長のほうから説明いたしましたけれども、次の 2 枚物の資料でございしますが、本来、限度額が 2737 万 7000 円であるべきところを、その次のページにございしますように、調書のほうの参考資料である、これまでの累積と申しますか、通算した金額、これを、おのおの一部を上げてもらったというようなことでございます。

それで次に、当分科会で諮ります資料の関係でございします。

先ほども申しましたように、右上に差し替えとございまして、これは、先般の 11 月の議案聴取会の場で説明さしあげた資料でございまして、めくっていただきまして、A 3 のほう、差し替え後と差し替え前があるということでございまして、主に 2 点ございします。

1 点目が、右、差し替え前のほうで申しますと、それぞれの限度額でございします。これにつきましては、今回訂正をお願いいたしました本来の要補正額と申しますか、予算額 3700 万円余り、あるいは 1200 万円余りを計上してございしますが、変更ということで、先ほどと繰り返しになりますが、本来ですと追加と変更ということですので、それをそれぞれ区分させていただいたということでございします。

それともう一点が、これも先ほど申しましたように、左のほうの中段から下のほうに、ノート型パソコンの台数——二重消ししておりますけれども——それぞれ 64 台を 47 台、あるいは 210 台を 120 台というふうに、これは改めさせていただきたいということでございまして、なぜ間違えたかということにつきまして、先ほども申しましたけれども、アップグ

レード分、この部分も含めて、私ども混同しておったということでございまして、あくまでも更新分は、47台と120台の合計の167台が対象ということでございます。重ねて申しわけございませんでした。

それから最後に、A4の平成26年度市立四日市病院パソコン機器更新についてという資料をご用意させていただきました。

これは、先ほどの予算常任委員会全体会の場で、川村高司議員からのご質問にございました、274台と272台の食い違いということでございまして、私どもは、274台とか272台というのは、この場では説明をしてまいりませんでしたけれども、IT推進課のほうの全体会の議案聴取会の場で説明しております数字が272台ということでございました。

それに対しまして、私ども市立四日市病院のほうのもと数字というのは、ここに記載がございます総計欄の端でございますが、274台ということで、この2台の食い違いはなぜだというような、ご質問でございまして、これにつきましては、簡単な表にあらわさせていただきましたように、リプレース分とか継続使用分、それからアップグレード分、それぞれ、それと機器の追加ということで、私ども、274台ということ想定しておったんですが、全庁的に調整する中で、IT推進課としては、272台でいいんじゃないかということで、議案聴取会でご説明申し上げたわけでございますが、その点の私どもとの連携がなく、私どもは、まだこれも274台という、いわば私どもの想定、要望と申しますか、計画数字でもって説明をしてまいってしまったと。それが、この2台の差ということでございまして、これにつきましても、本当にもう、何と申し上げていいか、本当に重ね重ね、その上ということでございますが、IT推進課との連携不足ということで、今回2台の差が出てしまったということで、議員の皆様には、ちょっと混乱を招いてしまったということでございまして、この辺につきましても、この場をおかりいたしまして、おわび申し上げる次第でございます。

説明といたしましては、以上でございます。

## ○ 加藤清助委員長

訂正後の議案の説明はお聞き及びのとおりであります。

これより、委員の皆さんからのご質疑を受けたいと思います。

ご質疑のある委員の方、挙手にてお願いいたします。

○ 樋口龍馬副委員長

確認だけさせていただきます。先般の更新をかけていく計画のA3横長の紙がございましたね。あれの一番下のほうで、医療部門のところにサーバー2台とあったんですが、このサーバー2台の更新というのは含めずに、機器の追加でよろしいんですね。この2台という数字は。後で、また違っていたというのは困るので。

○ 森嶋総務課情報処理係長

この2台はパソコンだけです。サーバーではありません。パソコンの2台の追加ということですね。サーバーではありません。

○ 樋口龍馬副委員長

サーバーOSの変更はしなくていいということですね。

○ 森嶋総務課情報処理係長

サーバーOSは、Windows XPではなくて、サーバー用のOSを積んでおりますので、そこは影響は受けません。

○ 加藤清助委員長

他にご質疑のある委員の方。

○ 笹岡秀太郎委員

説明で大体了とさせていただくんですが、機器更新の2台の差、説明を受けて、それはそれでいいんですが、扱いについては、これ、更新じゃないわね、追加やで。どういうふうに我々は理解したらいいか、それだけ教えてくれる。

○ 加藤清助委員長

補正予算上の扱いですか。

○ 笹岡秀太郎委員

そうそう。

○ 加藤総務課長

この増台分につきましては、今回の補正予算の範囲には含まれずに、新年度の予算の中で確認をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○ 笹岡秀太郎委員

了解です。説明があるということやね、また。

○ 加藤清助委員長

I T推進課と2台違っておるのは、I T推進課のほうが把握していないから違いが出たということなの。

○ 加藤総務課長

今回、W i n d o w s X Pということで、W i n d o w s X PからW i n d o w s 7という形で債務負担を組んで、年度内に処理をするという台数について、もうI T推進課のほうで120台という査定になってございます。

この2台につきましては、今後、職員数の増であるとかニーズの増を踏まえて、病院の会計の中で、追加については検討、協議して、その結果、増台する場合には予算のほうに盛り込んでいきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○ 笹岡秀太郎委員

市長のほうからも謝罪の言葉もあつたんですが、やはり今回、これを重く受けとめて、我々もちょっとこのあたりを深く、審査の経緯の中で見逃してしまったということも反省せないかんですが、しっかりと反省を踏まえた上で、これからはしっかりとやっていただきたいなという思いがあるので、もう一遍、事務長のほうから、その辺の決意だけお示しください。

○ 田中市立四日市病院事務長兼病院事業副管理者

先ほども申しましたように、委員会の審査の場に不正確な資料を出したということは、本当に深く反省しておりますし、重く受けとめております。

それで、先ほども申しましたように、本当にこれは初歩的、単純なミスでございますが、非常に重大なミスということでございまして、今後、まずは私自身が深く反省させていただくとともに、病院の事務局職員全員で、これを機に再度、その辺の取り扱いと申しますか、その辺の緊張感を持って臨むように再度徹底してまいりたいと思いますので、今申し上げられますのは、再発防止をどうするかということで努力してまいりますので、どうかこの辺で、そういうことでご理解をいただければというふうに思っております。

以上でございます。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

了解しました。

#### ○ 小林博次委員

これ、二つのことが指摘されたんやけど、IT推進課との連携不足、それから、今回のことは私どものミスやと。どっち。同じように見えて、全然これ、答えが違うので。

ただ、我々が審査していくのに、あなた方が提示される数字しか、数字を信用するしかないんやわな。とすると、あなた方のミスというのは、資料のつくり方がもっと正確であるべきやと思うね。

例えばパソコン47台、じゃ、これが1台当たり幾らぐらいになって、今まで5年使ってどんなことになっておったんかというぐらいのことは、一資料として出す必要があると思うんやわね。数字だけ出るから、チェックのしようがない。だから、あなた方のミスやというのは、そんなところがミスなんやろうけど、IT推進課との連携不足というのは、これ、ミスと違って、制度上の問題やと思うので。

だから、何でこんなことを言うのかというと、最近ちょこちょこ同じようなミス、単純なミスで、きちっと見ておけばないミスやと思うのがあるわけやな。誰かが計算して、次の別の者がそろばんを入れ直したりすれば、チェックし直したらすぐわかるようなミスでも、ずっと出てくるわけや。それは何遍、その都度謝っても改善されやんので。だから、改善策としては、やっぱり資料をきちっとつくってやると間違いが浮き彫りにされる可能性があるのでは。

それから、議会側からいつも問題提起しているのは、リースより買ったほうが安いのと違うかという問題提起やろう。それについて、あなた方は、費用対効果でリースのほうが安いという問題提起をするんなら、そういう種類の資料をつくって議会側に示さないと、正確に議会の要求したことに応えたことにはなっていないと思うんやわな。だから、ちょっと横着いと思うよ、そこら辺はな。これは、こういう問題がないと横着いと言にくいので、問題があったから、事のついでに出しておくけれども。

だから、具体的な中身で反省しないと、言葉で反省しても、同じことを繰り返す。この次は、別の人が済みませんと言うに決まっておるので。それはあってはならんことやから。我々がチェックできればチェックするけど、チェックのしようがない。

そんなことで、連携不足とあなた方のミスというのはどんなことなんか、もう一回ちょっと、悪いけど聞かせてくれる。

#### ○ 田中市立四日市病院事務長兼病院事業副管理者

ミスといえば、全てがミスということなんでございますが、私どもの今の説明といたすのは、ミスというのは、3億2000万何がし、本来の限度額の累積額と今回要補正の額を取り違えたということは、これはひとえに私どものミスというふうに理解しております。

それから、274台と272台の違いでございますが、これにつきましては、全体の議案聴取会の中では、IT推進課の説明の272台と私どもの思いと違ったということにつきましては、主に連携が不十分であったということですが、これも私どものミスといえばそのとおりでございます、その点も含めまして、小林委員のご指摘に対しては、本当に申し開きしようのしようがございませんので、本当に深く反省することしか、今言葉はございませんので、ぜひご理解をいただきたいというふうに思います。

#### ○ 小林博次委員

例えば、総計の272台と274台の2台の違いの説明は、ここから先で必要に応じて買うということやから、そういうことが注釈で書いてあれば、これ、ミスでも何でもないわけや。

だから、資料のつくり方そのものに問題があるのかなというふうに思っておるので、だから資料は、議会が一々、今まで何遍でも同じ注文をつけられておると思うよ。あなた方だけと違って、ほかの部もな。それは、やっぱり資料がきちっと親切につくられていたら、改めてここで資料請求もないやろうし。ということをやっぱり反省してもらって、再発防



止につながってもらえればありがたいなど。

今回のを見ておったら、本当に極めて単純なミスやから。別に起こったことを言うてもしょうのないことなんやけどね。だから、ミスはそれで、謝れば了承するということになるわけやけどね。

○ 伊藤 元委員

パソコンの機器更新については、また全体会の中で掘り下げて聞いていきたいなと思っておるんですが、今言われておる機器の追加2台、これ、先に追加、変更していけばいいという話やったんやけど、その理由というか、なぜなんですか。その辺も簡単に教えてください。

○ 加藤総務課長

今回の2台につきましては、医療部門でございます。医師の増員についても計画しておりますし、いろんなセクションといたしますか、部署でニーズも高まってまいります。といったことで、医師の人数等が今後拡充してまいれば、やはりパソコンのニーズも高まってまいるといふふうに考えております。

そういった場合に、やはり適正な配置を協議した上で、台数的に必要であれば、増台についても今後検討していきたいということでございます。

以上でございます。

○ 伊藤 元委員

ということは、今は必要ないけれども、次年度には必要になってくるであろうという想定の中の2台ということやね。

○ 加藤清助委員長

だから、2台は補正予算の中身ではないということですね。

○ 伊藤 元委員

当初予算に入れていくということやね。

○ 加藤清助委員長

よろしいでしょうか。

(なし)

○ 加藤清助委員長

それでは、質疑を終結いたします。

これより、採決を行います。

議案第79号平成25年度市立四日市病院事業会計第1回補正予算について、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○ 加藤清助委員長

異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第79号 平成25年度市立四日市病院事業会計第1回補正予算について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 加藤清助委員長

以上で予算常任委員会産業生活分科会を終了させていただきます。お疲れさまです。

11 : 29 閉議